小倉百句

完

渓花荘
文庫藏

小倉百句

鈍作

句撰

天智天皇

出来ぬや雑
衣手を
結だうけ

持統天皇

夕影や
尼が恒杵
洗ひ捨

樹下人麿
山鳥や
長々夜
汁仕ど
山びのあかひと
暑紀ひや
富士ゑく
真白よ
猿丸太夫
奥山よ
さびしさ
落の
白菊
中納言家持
蛙や
その河

安倍仲麿
検唐使洗ひ
難波
命の海

菅原道師
覚えなく
こがれ
鉦を
まいらせん

小野小町
花見風
物うき
焼の宿

蟬丸
年の関
行もかへるも
金のうす

魚くい俵屋
海入しよ
書鴨
うけて
漕出ん
と
傷の毒
だちの風
九文が
ふくふく
拂えん
陽炎
そつぽうへ
紙鳶荒や
衣紋坂
海の子たち
礫流て
礼ひろ
鶴寝る

光孝天皇

菜畑の
黄昏
去年の雪

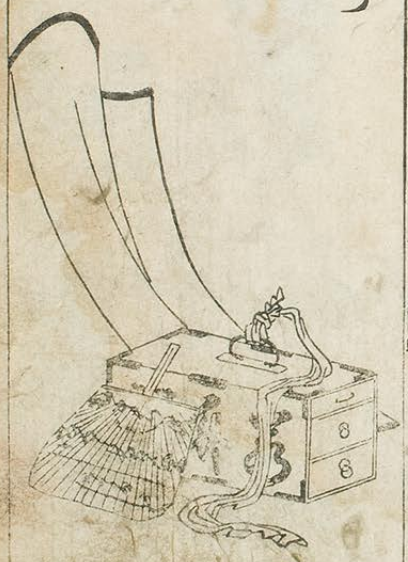
今昔
組の初鷹
旅遠み

中納言行平

在原業平

蔦かづら
うすぐれなゐ
うみをいや紅葉敷

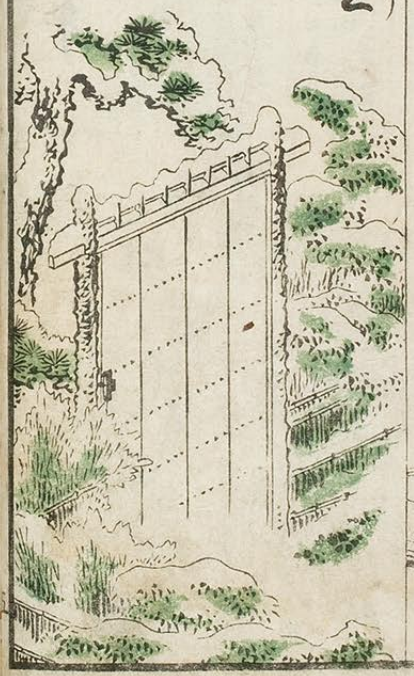
菊の敷物
雅房や
夢と
潜りる
三谷丹



伊勢

あハで

元良親王



文屋康秀

大江千里
月見れば
千々に物こそ
悲しけれ
我が身一つの
秋にあらねど
藤原敏行朝臣
住の江の
岸に寄る波
夢の通ひ路
人目よくらむ
三条右大臣
名にしおはば
逢坂山の
さねかずらの
人に知られで
くるよしもがな
大伴黒主
いやしいこの
我が宿は
人も訪ふ
雪の降る
中の道
古歌
自信公
紅葉ばを
踏みわけ
鳴く鹿の
声聞く
時ぞ
秋は
悲しき

中納言兼輔

山のゝ井
とゝまらぬ流
ゝ
ゝ

源宗于朝臣

凡河内躬恒

人ゝ
ゝ
ゝ
ゝ

壬生忠岑

ありたけの
垣つきぢう
玄関で

桜工是則
初雪の
さたの又これも
雪のやま
春遠引樹
暗路や
流れも
なつえぬ
澤探
絶友則
砕砕の
枝撫
雪ハ
桜の
蔦
蕪
押矢の
初雪

紙屋之
東西の花ぞ
むらさき
碎き祈祷

清水源吉之
夏の初ものを
ちぎ砕かうと
白ひ酒

文屋朝康

右近

文屋の朝康
里芋や
ちらぬき
とめぬ
板屋ぶし

むらを
人の命
惜くい
るいら
ふぐと仲

元輔
壬生忠見
我逢さ除ん
きゝいで
恋慶
この事
清原元輔
松山の
浪ハあえ
ゑ大ぞ

参議等
明
姿ゆ
花の宿
平兼盛
ち恋
知や
思ふ
問人ハ

撞中網云敦忠
謙徳公
藤原忠実
伊勢の撞
但し山兎

高麗左衛門
知章は
豆腐
忠盛や
いこまな
源重之
掛乞の岩
打信や
年の灘
大中臣能宣朝臣
四位守
清士うち
膳し
焚火の面
菊原義孝
寄合仏蟲
うぐひす
命さえ

大納言公任

温泉の山や
松風も絶て
人しづり
和泉式部
思出るうら
約束れ
さらぬ

紫式部

四方巡て
月の影
さらう
しのうん

大弐三位　擬書

稽古所
雪
生花や

赤隈右つ
やそらハぐ
こさ〳〵や
和今るの時鳥
小武内侍
衣更ゑや
ちふ山里の
子もとゑぐ
伊勢大神
ちふ宮の
榊先伺て
榊一の宮
清水観音
夜をこめて
やつとこゝ
年の宮

大原雅
口切や人
はてるうて
備用花文
桜や御三定和
朝ぼらけ
うぐ
ふるる
山のうら
大の用心
相撲
村雨や
垂涎羅
うつみ見び
大僧正行尊
藤がなつい
長と見
山さくら

周防国侍
富士りやまぐ
市蔵
三番傍
ぐりのもりの
でぐ
孫子
二日魚

能国法師
樹一石
なのクダ
地
大織三位
和やりや
角国氏
稲葉五法の領

秋子関駅屋家紀伊

鈴鹿兎狩の
きぬ
ぬれおうけ
濡浴衣

[illegible]仙元医房
雪と見し
さくらのもと
小吸筒

源俊頼朝臣

うゑもする
ちとせぶり
重男

菊水墓後
夢
朝寝
こしこし
いまゐ

小夫風
船頭の
源
きぐん
崇徳院
年礼や
ゆられても
来る
郵箱
飛氏連合
朱天下傳
源兼昌
雲ぢより
昼寝代
さもる
ちどり沢
たゑ変郵
ゆれもる
水ぢ池
濁
酒

侍賢門院梅川
忠義
嵯峨
王侯司
後徳大寺左大臣
箱提灯
夏の月

屋周住師
鶯九倍
初音
夏の水

皇太后宮大夫俊成
女の車
道こそ沉滑
梅の花

尚歯会
西行法師

後京極摂政
二条院讃岐
時鳥

伊勢の院別当
夏乱
辻ケ花

孫氏太古原
押返
つゆのあれ
ぐるる
和松原

前大僧正慈圓
あはれとも
なさけ
絵和歌や
多いこもち

参議雅經
君が代の
千年の
松も
ふるの山

入道前大納言
伯母
孫
さくらの
花
大強
豊国画
光昭時

檀中納言定家
従二位家隆

人も惜
人も恨
石の間
偏名和院

類法院

あさ漬や
古記入歯の
ぶかぶかに

右 白髭翁吟小金百匂郷

弟子眼のうしろ
魂を思ひて他の加筆
こと勢り

春の部

切磋琢磨

歳旦

ゆふ玉の夷は来り去り 杜者宅
元日は去きのふの法ふ 草庵
嘆や 少し 三の元ほ
年頃は 市統 中 入 歯

先祖の墓を我ながら
洛名人

姜附のすりこぎ

七種

小土器

ぶりぶりぎちゃう

麦粉

追羽根

初茸居

鏡割

梅

春色

釋奠

大神樂獅子舞

七種や口ずさみの春の日

七種や夫婦ちんぢゃうは枝ぶり

一夜ずつ舌ためしけりや去の世

拍へ〳〵やうり〳〵ぶり〳〵せめるうれ

しさこはや秀雀相傳の根は子

追羽根や拍子〳〵蔵お乳乃人

二日〳〵ハテめしぶりしんぢゃう

てんぷき通り異足の初こうり

むしゃう寄や隙は寄も蓋らはず

依保姫は人相書や けぶらう

うらぶれ

清貧も去やくてんこひ不國ルなり

治尊酒

蛙

螺売出

治尊酒や 碎しのや 陽花のゆとうめ

井はうちの塩よせりんあうゝ 伝

向ふ風 凡中の ゝ歩 この和

面ひ穴をいりは 明らもゝもよし

七の年 そはゝ のゝ ゝる 拙切 ゝる

二月ゝゝ月ゝゝ 教彩結ゝ猫の二ゝ

猫の恋 教きりと見なゝれゝ

初雷 は法性坊や ゝ ゝ ゝと去

曲水 の流ゝ法は むゝ はゝ

雛 蓋ゝけは天皇ゝや ゝの 箱

歌 ゝは 望ひ國ゝ

鞋

花

生葉と人さし指やさゝ[illegible]

かゝ千戸や花はなるしのこゝ[illegible]

花の雲金かし[illegible]

[illegible]

わゝ吉なき餅粉餅やそれの家

夏は新

紙麻衣

さゝきこゝふきゝけりや鴨は数

甲斐かゝ[illegible]

みてゝゝとやうゝのこはすし

ゝ雑やうゝちこゝ[illegible]

彩図財

揚由を食揚出りゝ彩ふんふ

ふんゝ子ゝ子のこゝ[illegible]

金銀花

五文ゝは安ふゝのゝゝ金銀

蚰蜒

蝶ゝゝる働きゝ[illegible]

醴

ゝゝきけゝ笑の沈る入は不了

松臭

こゝゝは待ゝゝ[illegible]

天上ゝ下唯我獨尊

釋迦も指さゝゝや松臭ゝゝ

[illegible]

引きけて八十二斤のこゝ[illegible]

古背ゝゝをゝゝ[illegible]

日傘

[illegible]

[illegible]

泉水

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

澄ふ[illegible]

[illegible]

一子論[illegible]

さくらだ酒[illegible]

秋は部

残暑

七夕

高灯籠

文珠會

[illegible]

[illegible]

[illegible]

蓮の露　清光

后月　経口侍　鱸汁　田守

桂　重陽

梨子　田家　湖寒　新秋　牧車追善

冬部

寒潭

付句

[illegible]付句種は合[illegible]

[illegible]

仁左さまは[illegible]世の[illegible]

[illegible]この[illegible]の世[illegible]

[illegible]付

[illegible]雪や義[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

茶の花
冬牡丹
[illegible]
[illegible]
西施乳

雪達磨
慈

納豆
除夜
宝船

○年はけふてふさるを[illegible]

[illegible]

紙屋や女房をこのり彩雪を汁
[illegible]
[illegible]
[illegible]

和田右衛門八十郎[illegible]

[illegible]

[illegible]

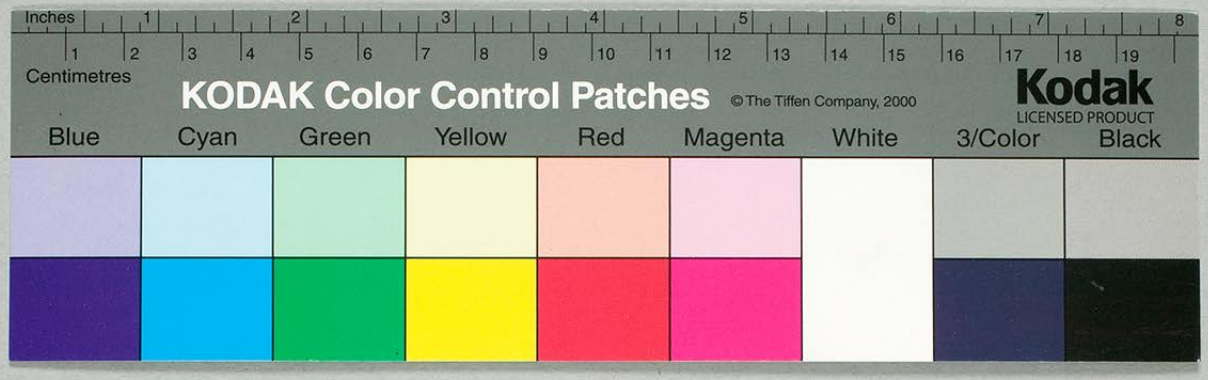
[illegible]

[illegible]

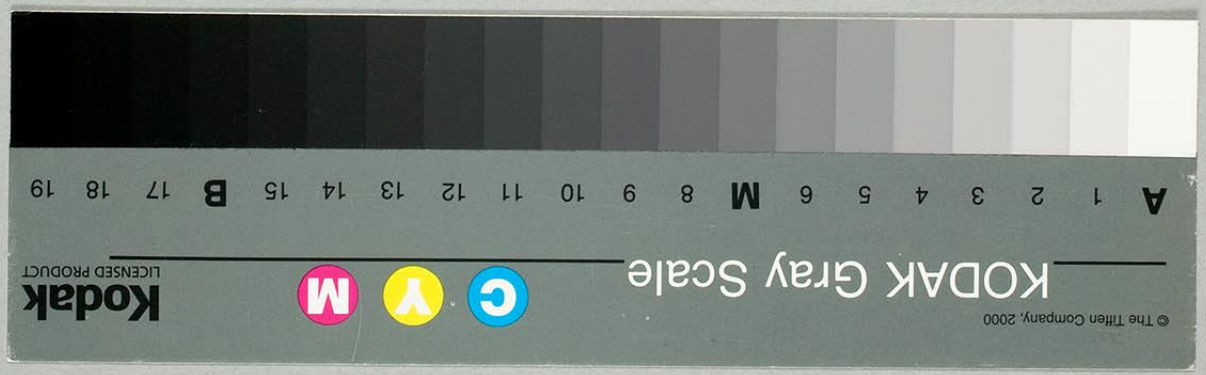
[illegible]

香爐

東素南堂に松せんとすると欲天に入んとすはしかの
[illegible]
[illegible]
里いしやこそりはをぬやみ〳〵ちくぬが荘の中小さどもそうのいとしかなこそ
彩田の陋巷之村をはつゝはそり者くい外のくゝ外きのびゝ外ゝ外こそ
[illegible]
[illegible]
[illegible]


Inches
1 2 3 4 5 6 7 8
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
Centimetres
KODAK Color Control Patches
© The Tiffen Company, 2000
Kodak
LICENSED PRODUCT
Blue
Cyan
Green
Yellow
Red
Magenta
White
3/Color
Black

QP CARD 101 V2


© The Tiffen Company, 2000
KODAK Gray Scale
G
Y
M
Kodak
LICENSED PRODUCT
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19